



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐島 夏生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03-6837-5000
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,467	4.8	△25	—	5	—	△2	—
29年3月期第1四半期	2,355	2.0	△72	—	△55	—	△66	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 50百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △46百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△0.06	—
29年3月期第1四半期	△1.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	11,224	6,931	61.6	207.13
29年3月期	11,287	6,895	61.0	206.24

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,910百万円 29年3月期 6,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	0.60	0.60
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.50 ~1.00	0.50 ~1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,700	0.6	100	△38.3	60	△45.2	1.80
通期	11,500	1.9	100	—	60	537.2	1.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	37,371,500株	29年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	4,008,346株	29年3月期	4,007,486株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	33,363,610株	29年3月期1Q	33,367,550株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京) 科技有限公司 Impress Group Singapore Pte. Ltd.
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業	販促物等の受託制作及びその周辺サービス		
音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のサービス事業及びメディア事業)	メディア事業	デジタル	デジタルコンテンツの企画・制作	㈱ICE
	サービス事業		電子書店の構築・運営等プラットフォーム事業	
その他			出版事業、電子出版等の事業開発及びR&D Webコンテンツの企画・制作等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売／物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、新刊書籍の販売効率低下や雑誌広告の減少を雑誌や既刊書籍の販売増で補えず出版メディア事業は減収となりました。サービス事業は、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォーム事業が好調に推移したことに加えて、アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託案件増加、また当第1四半期連結累計期間より株式会社クリエイターズギルドを連結の範囲に含めたこと等により増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（2,355百万円）に比べ112百万円増加し、2,467百万円となりました。

損益面におきましては、人材強化に伴う人件費の増加を増収と収益性の改善により吸収、また営業費用において貸倒引当金繰入額が減少したこと等から、前年同期（72百万円の損失）に比べ46百万円損失が減少し、25百万円の営業損失となりました。経常損益は貸倒引当金戻入益の計上等により前年同期（55百万円の損失）に比べ61百万円改善し、5百万円の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期（66百万円の損失）に比べ64百万円損失が減少し、2百万円の損失計上となりました。

(セグメント別の概況)

①IT

デジタルメディア事業につきましては、電子書籍等のコンテンツ販売が増加しましたが、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<http://www.watch.impress.co.jp/>）等の広告収入が減少し、減収となりました。

出版メディア事業につきましては、書籍やムックの新刊タイトルの減少に加え、雑誌販売が減少し、減収となりました。

ターゲットメディア事業につきましては、登録顧客向けのターゲット広告の収入が減少したことにより、減収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、前年同期（855百万円）比15.8%減の720百万円となりました。

サービス事業は、アジア及び国内市場向けのSP受託事業の受注が回復基調であることに加え、ターゲットメディアと連携したビジネスセミナーの規模拡大等によりイベント収入が堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（188百万円）比32.2%増の249百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、サービス事業が堅調に推移しましたが、出版メディア事業の減収を補えず、前年同期（1,044百万円）比7.1%減の969百万円となりました。セグメント利益は、減収したものの収益性の改善に加え、貸倒引当金繰入額の減少等により前年同期（63百万円の損失）と比べ12百万円改善し、51百万円の損失となりました。

②音楽

音楽セグメントにつきましては、事業開発を強化しております楽器売上のプラットフォーム「楽器探そう！デジマート」（<http://www.digimart.net/>）における楽器店からの登録料及び決済サービス収入の増加や電子書籍等のコンテンツ販売の増加により、デジタルメディア事業の売上高は増加いたしました。また、書籍の新刊タイトルの増加や雑誌販売が堅調に推移したこと等により、雑誌広告の減少を補い出版メディア事業も増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（398百万円）比6.6%増の425百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの収益性が低下、また人件費、宣伝・販促費や販売経費の増加等により、前年同期（8百万円）と比べ33百万円利益が減少し、24百万円の損失となりました。

③デザイン

デザインセグメントにつきましては、デジタルメディア事業の売上高は前期並みを維持、出版メディア事業は既刊書籍の販売が好調に推移し、増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（161百万円）比27.3%増の205百万円となりました。セグメント利益では、増収に加え収益性の改善により、前年同期（9百万円）と比べ30百万円利益が増加し、40百万円の利益となりました。

④山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売の増加に加え、登山情報サイト「ヤマケイオンライン」(<http://www.yamakei-online.com/>)の広告収入の堅調な推移により、デジタルメディア事業の売上高が増加いたしました。また、雑誌・書籍の販売が堅調に推移し、雑誌広告の減少を補い出版メディア事業の売上高も増加いたしました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期(368百万円)比2.9%増の378百万円となりました。セグメント利益では、増収に加え収益性の改善により、前年同期(7百万円の損失)と比べ50百万円利益が増加し、43百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォーム事業が順調に拡大し、スマートフォン向けアプリの企画開発・運営受託収入が増加いたしました。また、電子書籍レーベル「impress QuickBooks」等において、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売が順調に推移し、増収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期(302百万円)比21.7%増の367百万円となりました。セグメント利益では、増収と運営受託収入の拡大による収益性の改善で人材強化に伴う固定費の増加を吸収し、前年同期(45百万円)比2.4%増の46百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、理工系専門書の販売は減少いたしましたが、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めた株式会社クリエイターズギルドにおいてwebコンテンツの企画・制作等が堅調に推移し、売上高は前年同期(98百万円)比48.6%増の146百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの費用の増加により、前年同期(9百万円)比97.7%減の0.2百万円の利益となりました。

⑦全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売／物流管理機能を担う㈱Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の増加等により、前年同期(328百万円)比20.9%増の396百万円となりました。全社セグメントの利益は増収により、前年同期(13百万円の損失)から57百万円改善し、44百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節的要因による受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し11,224百万円となりました。負債につきましては、季節要因により仕入債務が減少したことに加え、賞与引当金や返品調整引当金の減少等により、99百万円減少し4,293百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払いにより利益剰余金が減少しましたが、その他の包括利益累計額の増加により、35百万円増加し6,931百万円となりました。

純資産から新株予約権及び非支配株主持分を引いた自己資本は6,910百万円となり、自己資本比率は61.6%と前連結会計年度末(61.0%)と比べ0.6ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績動向につきましては、メディア事業が書籍の刊行遅れ等により想定を下回る推移となりましたが、サービス事業においてスマートフォン向けアプリの運営受託収入、制作受託案件、イベント・セミナー等が堅調な推移となったことに加え、収益性の改善もあり、概ね想定通りの業績動向となっております。

第2四半期連結会計期間につきましては、サービス事業は引続き堅調な推移を想定、またメディア事業は、広告に不透明感はあるものの新刊刊行の遅れを取戻すことで、概ね予定通りの業績動向を想定しており、公表済みの業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,055	4,503,392
受取手形及び売掛金	3,532,602	2,600,993
有価証券	600,000	600,000
商品及び製品	1,048,095	1,182,480
仕掛品	94,609	116,191
繰延税金資産	122,443	122,443
その他	237,100	264,465
返品債権特別勘定	△17,900	△28,600
貸倒引当金	△49,209	△44,741
流動資産合計	9,361,797	9,316,625
固定資産		
有形固定資産	466,695	459,391
無形固定資産		
ソフトウェア	219,834	197,767
その他	14,154	14,445
無形固定資産合計	233,989	212,212
投資その他の資産		
投資有価証券	720,811	718,634
破産更生債権等	133,681	110,237
繰延税金資産	55,360	62,567
その他	432,512	438,618
貸倒引当金	△117,024	△93,579
投資その他の資産合計	1,225,341	1,236,477
固定資産合計	1,926,025	1,908,080
資産合計	11,287,823	11,224,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,247,595	1,070,874
短期借入金	560,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	232,200	273,566
未払法人税等	20,150	17,433
賞与引当金	105,694	36,501
返品調整引当金	145,046	93,772
その他	870,715	901,940
流動負債合計	3,181,402	2,894,087
固定負債		
長期借入金	119,988	315,420
繰延税金負債	42,964	49,468
退職給付に係る負債	1,044,337	1,030,807
その他	3,481	3,312
固定負債合計	1,210,771	1,399,009
負債合計	4,392,173	4,293,096

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,664,508	1,664,508
利益剰余金	595,130	573,087
自己株式	△722,575	△722,692
株主資本合計	6,878,084	6,855,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,526	113,713
為替換算調整勘定	51,432	49,796
退職給付に係る調整累計額	△146,097	△108,896
その他の包括利益累計額合計	2,860	54,612
新株予約権	14,704	14,704
非支配株主持分	—	6,368
純資産合計	6,895,650	6,931,609
負債純資産合計	11,287,823	11,224,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,355,584	2,467,842
売上原価	1,518,510	1,503,922
売上総利益	837,074	963,919
返品調整引当金戻入額	45,669	40,574
差引売上総利益	882,743	1,004,493
販売費及び一般管理費	954,947	1,030,030
営業損失(△)	△72,204	△25,536
営業外収益		
受取利息	959	744
受取配当金	164	439
貸倒引当金戻入額	—	19,660
持分法による投資利益	17,826	10,185
その他	1,285	6,156
営業外収益合計	20,235	37,187
営業外費用		
支払利息	2,695	2,006
為替差損	34	563
出資金運用損	—	2,090
その他	1,084	1,253
営業外費用合計	3,815	5,914
経常利益又は経常損失(△)	△55,783	5,736
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,496
新株予約権戻入益	2,135	—
特別利益合計	2,135	6,496
特別損失		
投資有価証券評価損	1,399	—
特別損失合計	1,399	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△55,047	12,232
法人税、住民税及び事業税	7,865	13,226
法人税等調整額	3,270	—
法人税等合計	11,136	13,226
四半期純損失(△)	△66,184	△993
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,030
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,184	△2,024

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△66,184	△993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,562	16,186
為替換算調整勘定	△6,558	△1,635
退職給付に係る調整額	7,026	37,200
その他の包括利益合計	20,029	51,752
四半期包括利益	△46,154	50,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,154	49,727
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,030

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	1,044,154	398,862	161,192	368,326	302,011	2,274,547	98,568	(17,531)	2,355,584
セグメント利益又はセグメント損失	(63,657)	8,127	9,304	(7,015)	45,421	(7,819)	9,488	(73,873)	(72,204)

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版、電子出版及びその他出版事業が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△73,873千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△17,531千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△341,021千円、セグメント間の営業費用の取引消去284,679千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	969,982	425,062	205,166	378,991	367,601	2,346,804	146,494	(25,456)	2,467,842
セグメント利益又はセグメント損失	(51,439)	(24,981)	40,013	43,541	46,533	53,667	221	(79,426)	(25,536)

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版、電子出版及びその他出版事業が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△79,426千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△25,456千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△347,658千円、セグメント間の営業費用の取引消去293,688千円が含まれております。